

令和5年度上松技術専門校運営協議会 主な意見等

開催日：令和5年9月5日(火)

項目	学科・訓練科	構成員からの主な意見等	校からの回答・校の考え方
応募・入校に関する事	木工科・木材造形科共通	<p>コロナ前までは、訓練生が1年間の活動を自主的にブログで発信していた。この3年間、コロナの影響でそうした活動が寂しくなってしまった。応募者はそうしたブログ等を見て全国から来ていると思うので、訓練生の目線で発信して魅力を出していかないと応募者が減ってしまう。</p> <p>例えば県林務部のフォレストバレー構想で林大・青峰高校・上松技専とで「木曾地域で森や山を学びませんか」というキーワードで発信することはできないか。</p>	<p>選考日程について、去年までは一般選考が年明けになってしまっていたが、他県では年内にほぼ入校生が決定している状況だった。</p> <p>そのため、今年度は繰り上げし、県内在住者も含めて年内に一般選考を行うことにした。その様子を見ていきたい。</p> <p>情報発信等については、3校連携の協議会で話をしながらできることがあれば進めていきたい。</p> <p>フォレストバレーは、県だけでどうにかできるという話ではないため、地元や関係機関の皆さんの御協力をお願いしたい。</p>
訓練に関する事		<p>訓練の様子を見学したが、校の方針だと思うが、わりと自由にやっているようだ。企業に入れば就業時間が制限されるが、その点はどうか。</p>	<p>訓練生には決められた枠の中で決められた締切までにやるのが社会人の基本であると意識してもらうようにしているが、逆に目的意識がはっきりしているが故にそれを押さえつけてしまうやる気を失ってしまう恐れがある。そのため、加減が必要で様子を見ながら対応している状態である。</p>
就職に関する事		<p>技術の世界は1・2年で習得できるものではない。何年もかけて習得するものなので、それだけの指導をしていくのが一番大事なことだと思う。</p>	<p>木で例えれば根っこの部分である研ぎや道具の手入れ、基本的な機械の使用方法など基本的な部分を重点的に訓練している。</p> <p>ここでの訓練で完成した技術者になれるわけではなく、ここを修了したところがスタートラインで、就職先で更に技能を身につけていく。本校はそのための端緒という考えで指導しているつもりである。</p>
		<p>できれば修了生のリストをホームページ等に掲載していただきたい。事業で成功している人が結構いるため、そうした人達を紹介すれば、目標にもらえる。また、我々もそのリンクから仕事を頼むこともできるため、校と修了生とのリンクを検討していただきたい。</p>	<p>現在、本校のホームページに、若干だが修了生の工房を案内している。校側で一方的に掲載はできないため、修了生と話し合いながら考えていきたい。</p>